

# 熊野江港 Kumanoe Port

- 港湾区域認可 昭和38年4月22日
- 港湾区域告示 昭和38年6月11日
- 港湾区域面積 345ha
- 所在地 延岡市

## めぐまれた自然環境とレクリエーション活動の場

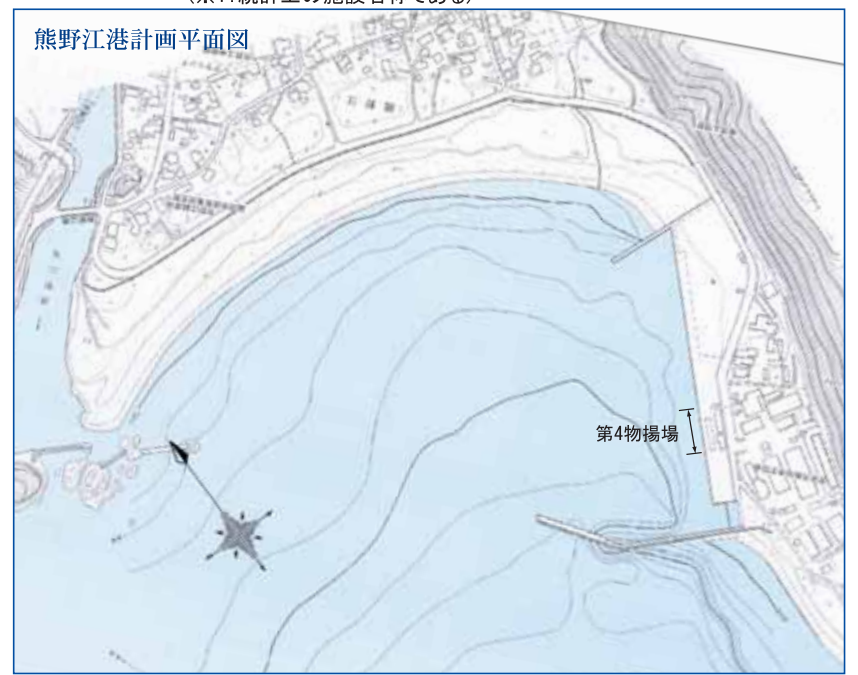
### 沿革

本港は、従来離島航路の基地として、また、木材の積出港として利用されていたが、現在は水産加工の製品、原材料の移出入及び漁船施設として利用されている。港の背後では宮崎県水産振興協会により栽培漁業の研究が行われている。また、隣接する海浜は、キャンプ場・海水浴場・ハングライダーの着地点となっており、県内外の人々で賑わっている。

令和4年取扱施設

| 施設名(※1) | 水深(m) | 延長(m) | 船型     | 取扱い貨物         |
|---------|-------|-------|--------|---------------|
| 第4物揚場   | 2.0   | 30    | 5(D/W) | 水産品、動植物性製造飼肥料 |

(※1:統計上の施設名称である)



令和3年11月撮影

# 延岡港 Nobeoka Port

- 港湾区域認可 昭和28年2月25日
- 港湾区域告示 昭和38年6月11日
- 港湾区域面積 883ha
- 所在地 延岡市

## 延岡市の流通拠点

### 沿革

本港は、一級河川五ヶ瀬川・北川の河口に位置し、延岡市を中心とする県北地域の生活物資の移出入港として古くから活用されてきた。

現在の取扱貨物の殆どは砂利・砂・原石等であるが、小型漁船の基地としても利用されており、水産品も水揚げされている。

しかしながら、本港は河口港であるため、航路の維持が困難であるとともに、河口付近においては不規則な三角波が発生し、小型船の航行に支障をきたしている。

このような状況に対応するため、本港では航路泊地の浚渫、防波堤の整備を行い、航行船舶の安全確保を図っている。

また方財地区においては、漁船の係留施設が不足し、漁業活動に支障をきたしているため、物揚場の整備を進めるとともに海岸の侵食防止と有効利用を図るため、公園整備を行い、平成15年より供用している。

令和4年取扱施設

| 施設名(※1) | 水深(m) | 延長(m) | 船型       | 取扱い貨物    |
|---------|-------|-------|----------|----------|
| 方財1号棧橋  | 3.0   | 125   | 20(G/T)  | 水産品      |
| 大武1号岸壁  | 4.5   | 300   | 300(D/T) | 砂、砂利、石灰石 |
| 大武2号物揚場 | 3.5   | 245   | 300(D/T) | 砂、砂利     |

(※1:統計上の施設名称である)



令和5年2月撮影